

「ハリヨを市の魚として制定することについて」に対するパブリックコメントの実施結果について

1. パブリックコメントの実施状況

- (1) 募集期間 令和7年11月12日（水）～12月11日（木）
- (2) 提出状況 2件提出（電子メールでの提出2件）

2. 意見および市の考え方

※ ご意見の内容については、趣旨を損なわない程度に一部要約しています。

No	意見	市の考え方
1	・名前が既に世間に知られているという理由によりハリヨを市の魚に制定することに賛成する。	今年度、市では絶滅危惧ⅠA類に指定されているハリヨについての講演会や広報の特集などを行い、市民の皆様にはハリヨ及び生息環境について周知活動を行いました。また、小学校では総合的な学習の時間を使ってハリヨについて学んでおり、子どもを中心にハリヨのことをご存じの市民の方は一定数いらっしゃると思います。今回、ハリヨを市の魚として制定することにより、市としてさらにPRを行うとともに、市民の方にも市の魚として認識していただくことで市民間でも環境保全に対する意識が広がっていくことを期待しています。
2	・ハリヨを絶滅させてはいけない。	絶滅の危険性が極めて高いハリヨが生息する数少ない自治体である当市といたしましては、地域の宝物としてハリヨを保護していかななくてはならないと考えております。 現代社会におきましては、気候変動や人間活動の影響によりその生息環境が悪化しておりますが、その環境を維持するためには、生体の保護、環境汚染の抑制、地球温暖化対策、そしてごみの減量化など互いに影響し合う複合的な取組みとして進めていく必要があります。 今後は、市民、事業者、行政が力を合わせて環境改善を行うことにより、ハリヨが生息しやすい環境の保存に取り組んで参ります。
3	・市の魚として制定するには、マスコットキャラクター化や、瑞穂市の環境が良い（地域の方の協力あってこそ）ことを	現在、市ではハリヨに関するグッズを製作していませんが、今後は市のマスコットキャラクターかきりんとのコラボレーショングッズなど

	<p>PRしてもらいたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富有柿とともにもっと大々的にアピールしてほしい。 ・ハリヨのきれいな魚体カラーを使ったグッズを販売やふろさと納税の返礼品としては良いのではないか。(ハリヨカラーTシャツ、コップ等) 	<p>も検討し、PRしていきたいと考えています。また、市では「瑞穂市環境都市宣言」に基づき、環境について皆さんで考える事業の実施を計画していますので、その中で環境とハリヨを関連付けたPRを実施したいと考えています。</p>
4	<p>「地球上では10分に1種類の生物が絶滅している」という現実があり、その要因のひとつでもある「環境汚染」を解決する取り組みを行うことを、ハリヨを市の魚に制定する上での宣言にしてはどうか。</p>	<p>当市では、ご意見をいただきました環境汚染をはじめ、地球温暖化などさまざまな環境問題に対し積極的に取り組むため、令和6年3月に「瑞穂市環境都市宣言」を行っておりますので、今回、ハリヨを市の魚に制定するうえで、改めて宣言文を作成・公表することは考えておりませんが、「瑞穂市環境都市宣言」に基づき、市民、事業者、行政が一体となり環境意識の高揚を図り、人と自然が共生できる持続可能なまちを目指して環境問題に対し取り組んで参りたいと考えています。</p>
5	<p>環境汚染を解決する取組内容は、ハリヨだけでなく多くの生物や自然環境のためになるという観点から、「ハリヨが好きな微生物を増やそう!」といった取り組みを行うことを要望する。</p> <p>例えば、福岡県宗像市が大学などとタッグを組んで、微生物が好む天然素材の石鹸を家庭廃油から手作りし、それらを家庭で使うことで家庭から出る排水から微生物のエサが増え、結果、海の水質が改善し、わかめ産業にも良い影響を与えたという取り組みがある。数値化することで環境改善なされていることが見える化され、モニターとして取り組んだ家庭だけでなく周囲の家庭でも「うちもやろう!」と家庭＝環境との結びつきがあることを実感して、参加してくれるようになったり、一緒に取り組み、観察した地域の子ども達からも、将来の夢はパティシエだったけど、環境に良いものを開発する科学者になりたい!という言葉もあつたりしたとのこと。地域社会、教育、様々な箇所に良いもたらしがあると</p>	<p>情報の提供ありがとうございます。</p> <p>改めて調べさせていただいたところ、福岡県宗像市では生活排水が環境や生物へ及ぼす影響を調査するために、行政、大学、無添加せっけんメーカーなどが、宗像市沖に浮かぶ地島(じのしま)に住む島民に洗剤として合成洗剤ではなく指定した石けんを3か月間使用してもらう「未来の海を守る 島まるごと無添加石けん生活～生活排水の環境及び生物に対する影響に関する実証実験プロジェクト～」を実施し、「下水処理場内の微生物が豊かになること」、「水中の有機物(汚れ)が低減すること」、「生態系に影響を与える可能性がある物質の排出量が減ること」などが分かった旨の報告がされていることを把握させていただきました。</p> <p>この度いただきましたご意見は、今後の事業の参考とさせていただきます。ありがとうございます。</p>

	<p>期待できる。</p> <p>みんなでハリヨなど生物が暮らせる環境づくり＝市民の生活環境改善にもつながり、また、そこから微生物の役割を知る中で、「微生物＝健康」ともつながります。と、どんどん良い形へと紡いでいけるこの取り組みをプロジェクトとして、多方面の方々と協議会を制定して進めてはどうか。</p>	
6	<p>十八条や西ふれあい広場などの市内のハリヨの生息地を訪問したが、周辺の状態が残念な状態であったり、鯉と混泳していたりして、いるのかどうか分からない状況であった。何度も行ってみたいと思えるような所にしてもらいたい。</p> <p>また、専門家の指示のもと、より立体的に観られる環境づくり、水中が覗けるような設備を設け、常時水中の状況をライブ配信してはどうか。</p> <p>キレイな水があり、ハリヨがいる環境は、市民が住みたいと思う。環境を維持していかなければいけないが、もっと盛り上げてもらいたい。</p>	<p>十八条や西ふれあい広場を始めとする市内のハリヨ生息地をご訪問頂きましてありがとうございます。</p> <p>ご指摘のとおり、ハリヨの生息地の中には、周辺環境の変化や視認性の低さにより、生息の有無が分かりにくい場所があることを市としても認識しております。また、鯉など大型魚との混泳につきましては、ハリヨの生息環境として必ずしも適切ではない場合があります、今後の管理方法について課題があると考えております。</p> <p>生息地を「何度も訪れたいと思える場所」にしていくというご提案は、ハリヨの保全だけでなく、市民の皆様に水環境への関心を高めて頂く上でも非常に重要な視点であると受け止めております。今後は、専門家の助言を得ながら生息環境の改善や水中の様子が分かりやすくなる工夫について検討していきたいと考えます。</p> <p>また、水中が観察できる設備の設置や、ハリヨの生息状況を発信するライブ配信といった情報発信の強化につきましては、環境教育や啓発の面でも有効な手段であると考えられます。一方で、設置や維持管理に係る費用、機器が生態系に与える影響なども十分に考慮する必要があるため、実現に向けては段階的に検討を進めていきたいと考えます。</p> <p>清らかな水環境とハリヨの生息は、「市民が住みたいと思えるまちづくり」に直結する大切な要素です。今後も、市民の皆様や専門家と連携しながら、ハリヨの保全と水辺環境の魅力向上に努め、より多くの方に親しまれる取り組みとなるよう進めていきたいと考えます。</p>
7	<p>近隣の大垣市、海津市、アクアトト、滋賀県等他ハリヨ生息</p>	<p>ご意見のとおり、ハリヨは自治体の境界に関係なく、湧き水や水系と</p>

	<p>地との連携もしてほしい。</p>	<p>いった広域的な環境の中で生息していることから、その保全にあたっては近隣自治体との連携が重要であると認識しています。今後は、生息状況や保全手法に関する情報共有をはじめ、専門家の知見の活用や啓発活動などについて、近隣自治体と協力しながら取り組んでいくことを検討したいと考えます。広域的な連携を進めることで、より効果的なハリヨの保全と水環境の維持につなげていきたいと考えます。</p>
--	---------------------	--